

令和5年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース 教授 田宮高信

取組状況	
教育	<ul style="list-style-type: none">・毎回の授業を録画する取組を継続し、今年度も1年間続けることができた。録画データは、クラスルームで公開し、復習用および休んだ学生用のキャッチアップ教材としている。・練習問題、演習問題、加点問題の構成を整理して明確にし、模範解答と共にクラスルームにアップしている。動画情報と共に、オンデマンドで何度でも繰り返し確認できるコンテンツとして利用できるようにした。・オンラインコンテンツは学生から試験勉強に利用できるなど活用事例が寄せられており、手応えを感じる事ができた。
研究	<ul style="list-style-type: none">・超弾性合金線のねじり特性や強度の評価を行うため、専用の繰り返しねじり試験機の開発・改良を進めた。学生の教育研究として進める開発意外に、もう一機の開発を実施し、効率の良い実験と評価、学生への教育ができるよう環境を整えた。・能動型上肢装具の開発は肩関節および肘関節の動作が可能となり、被験者への実装が手に届くところに近づいている。・これまでの成果を整理し、超弾性合金線、フレキシブルシャフトのそれぞれの課題で学会発表を実施し、さらに超弾性合金線について論文投稿できる段階まで来た。
社会貢献	<ul style="list-style-type: none">・体験入学・高専祭を通して、医療福祉工学コースで学ぶ技術の一端を中学生や来場客に伝える役割を果たした。・体験入学では、数年かけて検討してきた「新テーマ」を実施に移すことができた。次年度に向けてさらに充実した内容にアップデートできるよう、検討チームを牽引した。